

更に闘いを強化し、「一方的実施」策動を粉碎す

 動乗勤制度改悪反対の闘いは、当局・動労「本部」革マル一体となった「六月三十日妥結」の策動を、動労千葉・国労の闘いで打ち砕くという緒戦の成果をかちとりました。
 われわれは、「59・2ダイ改に合わせ六月末妥結」という当局の狙いを粉碎しましたが、しかし、何が何でも実施を狙う当局は、七月一日の団体交渉において、「現協定の九月三十日破棄→来年四月一日以降一方的実施」を目論む「動乗勤制度改訂」を新たに提案するという許せない居直り・強行の姿勢をとってきています。

|| 六月三十日の団交が決裂 ||
 「59・2ダイ改とセツトで実施」との当局の目論見を粉碎

六月三十日の団交において当局は、「『動力車乗務員の勤務に関する協定の改正』については、昨年一月の提案以来八回の交渉を行ってきたが、59・2に実施するためには、訓練・線見等の関係から今日がリミットであり、提案通りお願いしたい」と、あくまでも「当局提案通り」で、しかも「リミット」をふりかざして妥結をせまってきました。

これに対し動労千葉は、「これまで何回も交渉を積み上げてきたにもかかわらず、このような当局のやり方には問題がある。この間の交渉の中で当局提案の不当性は明らかであり、当局は提案をただちに撤回すべきだ」と主張し、最終的に、
 第一に、これまでの交渉における討論にふまえ、提案を撤回すべきこと。
 第二に、当局の、本提案以降のデタラメで不誠実きわまりない対応に厳重に抗議する。
 第三に、「現行協定」を尊重し、まずもって動労千葉から提起している諸要求に基づいて改善をすすめるよう要求する。

の三点について申し入れました。
 これに対し、当局は誠意ある対応を示すことなく、居直りの、「明日(七月一日)新たな提案を行いたい」との硬直した対応に終始したため、交渉は決裂しました。

|| 七月一日、当局が居直りの「新」提案 ||
 交渉無視→一方的強行実施の策動を許すな

七月一日の団体交渉において、当局は、「これは、『有効期間の定めのない協定等の取り扱いに関する協定』に基づくものである」との理由をくっつけて、先に決裂したばかりの「動乗勤制度改訂」の提案をあらためてやり直すという対応にきりかえてきました。

これは、「現行協定を九月三十日で破棄し、六ヶ月の協議期間をもって、来年四月一日以降一方的に強行実施すること」を狙ったものであります。このことは、「結論を得るまで交渉を継続するのか」とのわれわれの追及に対して、「本提案をこれ以上延ばせないで、この協定にのっとって、可急的すみ

やかに実施したい」との答弁に終始した当局の対応を見るまでもなく明らかであります。

このような当局の姿勢は、先の「現協協定」や「乗車証」の一方的廃止攻撃と同様のやり方で強行実施するための最後通告的なやり方であり、断じて許せない!

動労千葉は、この点を厳しく抗議するとともに、当局に対して、「今後、交渉を継続するかどうかも含め、機関として検討する」旨を通告して交渉をうち切りました。

「六月決着」に全力をあげた、当局の手先動労「本部」革マルを全職場から一掃しよう

すでに見てきたように、動乗勤制度改悪の狙いは、乗務効率の向上→大巾労働強化を図る抜本的な要員合理化攻撃であると同時に、動力車職場を直撃する国鉄労働運動破壊の軸をなす重大な攻撃であります。それ故に、当局は、「動乗勤制度改訂の六月決着」にむけて全力をあげてきました。

そのような当局の意図と方針に早々と屈服し、積極的に支えるものとして、またもや動労「本部」革マルと鉄労が反動的な動きを早くから開始してきました。とりわけ、動労「本部」革マルは六月十七日の「全国戦長会議方針」でも明らかな通り、「『民営・分割』が出てきた以上、『動乗勤』のみ自立させて闘っても利益を守れない。職場と仕事を守るために働き度高め乗務効率を向上させよう」と主張し、率先して「六月中決着」のために全力をあげ、またしても当局の先兵として登場してきました。

こうした状況に抗して、動労千葉は国労共闘を軸にねばり強く闘いを継続し、当局・動労「本部」革マル一体となった「六月決着」の目論見を粉碎する緒戦の勝利をかちとったことをがっちり確認しようではありませんか。

その上で、政府・自民党、国鉄当局による国鉄労働運動解体攻撃がより激化することは、「提案した以上、一歩も引かない」「来年四月一日には何としても実施したい」という当局の強硬姿勢の中にはっきりと示されており、われわれは敵の攻撃の本質をしっかりと見すえ、「反合・三里塚を闘う労働運動」の飛躍的強化・拡大をかちとると同時に、またしても、反労働者の・裏切り者の本性をあらわにした、敵の先兵「動労「本部」革マルを全職場から一掃して、動乗勤制度改悪をはじめとする、あらゆる反動攻撃をはね返していこうではありませんか。

勝利! 闘争 ジェット 三里塚 砕粉 革マル 本部 「動労」 破って うちを 敵の

動乗勤制度改悪「6月決着」を阻止する